

## 第5回みなかみ町都市計画審議会議事録

- 1 日 時 平成29年6月20日(火) 午後1時30分から午後3時15分
- 2 場 所 みなかみ町役場本庁舎 3階 第2会議室
- 3 出席委員 石井敬一委員、石坂郡二委員、大竹哲也委員、小野里光敏委員、佐藤芳太郎委員、神保誓志委員(代理 新井交通課長)、鈴木春美委員、高橋市郎委員、高橋俊信委員、林一彦委員、林喜美雄委員、前田善成委員、前原悦治委員、下田美里専門委員
- 4 欠席委員 深津卓也委員
- 5 事務局 古川地域整備課長、味戸都市計画グループリーダー、石坂都市計画グループ係長、(株)パスコ

### 6 議 事

- (1) 開 会
- (2) あいさつ(鬼頭副町長)
- (3) 委員紹介
- (4) 議事日程

#### 第一 会長の選出

委員より事務局に案が求められる。事務局から小野里委員を会長にとの推薦があり、委員の承認を受ける。

会長就任挨拶。

#### 第二 会長職務代理者の指名

会長より、深津委員を会長職務代理者として指名される。

#### 第三 議席の指定

会長より現在の席次を議席とする案が示され、委員の承認を受ける。

#### 第四 議案上程

第1号議案 みなかみ町都市計画マスタープランの策定について

<資料1：都市計画マスタープランとは>

事務局より資料内容を説明

会 長： 何かご意見、ご質問等はございますか。

事 務 局： もし、無いようでしたら、最後にまたご質問の機会を設けさせていただきますので、次の説明に移らせて頂きます。

## <資料2：町の概況・都市づくりの課題について>

事務局より資料内容を説明

会 長： それでは、町の概況並びに都市づくりの課題についてご説明がございましたので、ご質問、ご意見等ございましたら、お願いしたいと思います。はい、どうぞ。

委 員： 5ページになりますが、みなかみ町における都市計画区域の指定状況につきましても、旧3町村のままの都市計画区分になっているのですが、その変更等は視野に入れていないのでしょうか。

事 務 局： はい、資料の5ページ、都市計画マスタープランですね。「都市計画とは」の資料のほうでよろしいでしょうか。

委 員： そうです。厚い方です。厚い方の5ページに、都市計画区域区分というのがあるのですが。

事 務 局： 現在まだ策定がやっと入り口に入っていくというところで、皆さんに色々ご意見とか伺いたいところではございますが、現在、都市計画区域外のものについても、必要などころでは、都市計画区域または準都市計画区域の指定を検討していこうということで、庁内では議論されているところなんです。そこについては、まだ皆さんにお諮りするという段階にはなっていないのですが、庁内では検討しているところです。

委 員： 庁内というと、それはどういった団体というか、機関が行っているのですか。

事 務 局： 庁内で、関係課長が集まる庁内検討委員会というのを立ち上げてまして、その中で今後どうしたら良いかということで、今、第1回の検討を始めたところでございます。また、必要でありましたら名簿等をお配りしたいと思います。

委 員： はい、ありがとうございます。

会 長： 今のご質問は重要な質問だと思うのですが、新治地区も都市計画区域を指定する方向で検討していると取ってもよいですか。

事 務 局： 皆さんにお諮りするとか、あと住民の方の考えとかいろいろありますので、そういった指定を行うのであれば、どういうことが考えられるかを少し整理して皆様にお見せしたいと思います。ただ「このようなケースはどうですか」という具体的な話にまでは至っていないものですから、ちょっとこの場ではお話できないのですが、検討を始めたというところだけは間違いないです。

会 長： はい、どうぞ。

委 員： 今、町の現状の説明がありましたが、いわゆる人口減少プラス高齢化

社会、これを踏まえて都市計画の計画を策定するというのは、非常に難しいと、自分自身考えています。人口が右肩上がりが増えるような地域であれば、それは実現可能な方向で物は進むでしょうけれども、合併する前の月夜野町においては、いわゆる都市計画区域があつて、計画をもってまちづくりをしていたわけですが、都市計画道路がやっと着工になったのは、合併してからです。20何年も経ってからです。そういったスパンで物を考えていくのは、非常に頭が病めるなというものが1点。

もう1点、月夜野町のときに都市計画で、いろいろな居住地域、工業地域と指定したのですが、時代が変わるとそういうふうになかなかいかなくて、例えば、いい例として住宅地域として指定していた矢瀬の地域を、工業地域に転換をして工業用地がはかられたという例もあるわけです。これを策定しないわけにはいかないのですが、もちろんするのですが、そういった時代に合った変更というのは、どの程度が可能なのかということについて、どうなのですか。

会 長： 今の質問は、「都市づくりの目標について」の説明が終わってからにした方がいいですか。今すぐ答弁できますか。

委 員： いいです。それはそういう課題で今後、進んでいくということだと思うんです。

もう1点いいですか。今後の課題というと、今のことに対しての質問に合わない発言になると思うのですが、これからまちづくりのマスタープランを策定するに当たって、先ほど会長もおっしゃったように、水上地域での都市計画道路が進んでいないというか、そういう問題もあるわけですね。

それともう1点。新たな幹線道路が20年前ごろ、新幹線、高速道路がああいった時点において、できているわけですが、それを踏まえて、ある程度、先ほど会長がおっしゃるとおり、新治方向の幹線道路沿いであるとか、水上地域の幹線道路沿いであるとか、そういう部分においての土地利用に関して、きちんと計画を策定することが必要なと、そんなふう思うんです。

会 長： それはご意見として承っておくことでよろしいですね。

それでは、他にも質問はあるとは思いますが、議題の中の「都市づくりの目標について」のご説明をいただきたいと思います。

事務局： はい、では次の「都市づくりの目標について」説明させていただきます。

### <資料3：都市づくりの目標について>

事務局より資料内容を説明

会 長： はい、それでは、「都市づくりの目標について」のご説明が終わりましたので、ご意見、ご質問等ございましたら、今までの全体的な説明についての質問、ご意見等あわせて、お聞かせ願いたいと思います。

委 員： 8月9日に徒渉橋が開通になります。開通に伴って後閑地域が大混乱になると思われるのですが、今、後閑地外から真政区に抜けようとする計画と、矢瀬から月夜野会館が途中で工事がとまっていますね。その進行状況をご説明願いたいと思います。

会 長： はい、事務局お願いします。

事 務 局： まず、真政悪戸線。真政インターに抜ける道路、この次の計画ですけれど、今年度の予算の中で概略設計ということで発注させていただいています。概略設計を発注して、それをもとに詳細な設計をして進めていこうということで、真政悪戸の次の事業を進めようとしています。

悪戸矢瀬線については、一部は終わっていますけれども、予算の問題であるとか、色々な問題がありまして、今止まっているのですけれど、早く進められるように努力していきたいと模索しているところです。

委 員： はい、わかりました。

会 長： ほかにご意見、ご質問ございましたら。はい、どうぞ。

委 員： 今回初めてこの会議に来させてもらって、何かあまりよく分からなくて申し訳ないのですが、この都市計画審議会というのが、もう何年くらい会議として行われているのか、ということが1つ。

事 務 局： まず、第5回とありますのが、合併して5回目という意味の第5回でございまして、第4回が1年前の2月に都市計画審議会を開催して、それ以来ということになります。

委 員： ということは、合併して10年になりますが、それから5回で。

事 務 局： はい、今日で5回目です。

委 員： 今、ようやくここまで話が進んできたということでしょうか。

事 務 局： そうですね。本来、定めなければならない都市計画の方針が定められていなかったもので、やっとここまで来ましたということでございます。

委 員： それで、マスタープランの説明の中に、こんな町になったらいいとか、いろいろなこういう希望的、こんな町にしたいという絵が描いてあるのですが、では将来的には本当にコンパクトシティみたいなものを現実的につくろうとしているのか、いやいや、そうではなくて、既存の施設を活用して、みなかみ町にお客さんを誘致できるようにしていきたいのかとかは、どういう感じなのでしょう。いずれは用地を買収して、

本当にこういったコンパクトシティをつくっていききたいと、町として思っていて、そういう計画を立てていくつもりなのか、そうではなく、本当に今この現状をよくしていくのか。例えば、上毛高原の駅周辺で、私もいろいろなところに新幹線で行かせてもらって、会議だけで終わってしまうと、結局最後にお土産を買いたいと思うときは、新幹線の駅の乗り場でお土産を買って帰ってくるのですが、上毛高原駅では、そういったことが、お客さんのニーズに对应されていないという気がしますので、そういった、上毛高原の駅周辺を、もう少し都市計画というか、もっともっとお客様が訪れてみたいという町にしていく、そういうことをこれから私たちが意見を出して、あそこをもっとこういうふうにしてほしいとか、もっと、このところをこういうふうにしてほしいとかという、意見を出していくのが、この都市計画審議会での私たち住民代表の役割で良いのかどうか。あまり皆さんみたいに難しい話は分からないのですが、これからどういうふうな町にしていきたいと思っているのかということなんです。

会 長： ちょっと、話が都市計画以外に戻って、答弁しにくい面もあると思うのですが、まず、この都市計画審議会の主旨というものが、新しい人もいるから、そのあり方というか、どこまでどのようにやるかということとか、今開かれているこの審議会は何を目指して招集されたのか、その辺が知りたいということですよ。

委 員： はい。

事務局： まず、みなかみ町におきまして、今回初めて都市計画マスタープランを策定していくということになりまして、一般的に市町村においては策定委員会というものを立ち上げて検討していくわけですが、都市計画審議会で策定委員会の役割を担ってもらおうということです。私どもが実際の会議を主催するに当たって、一番バランスのいいメンバーがそろっているのが都市計画審議会だったものですから、今回、都市計画マスタープランの審議につきましては、都市計画審議会の方で審議して頂くような形で企画をしまして、皆さんにお願いしたというところがございます。メンバーの構成が、学識経験者の方と、議会の方と、あと住民の代表をしている方、あとは関係行政機関の方という形で、バランスが整っているのです。今回この場で都市計画マスタープランをいろいろ諮問していただくと思って、進めているところです。

発言の内容については、やはり住民を代表する方の目線で、観光でありますとか、そういう要素とか、いろいろ気づいた点を発言して頂くことで結構でございますので、そういった一般の住民の方の目線で発言を

して頂くことでお願いしたいと思います。

会 長： では、このような発言は大いに歓迎ということですので、これからこの審議会でマスタープランを策定するのだそうです。そのところが我々も分からなかったので、役場から出されるものを、これでいいか悪いか調整するのかなと思っていたのだけれど、そうではないかもしれない。

事務局： あと、前回の1年前のように公共下水道の計画区域の変更というまた違う面での都市計画原案の計画決定について諮問する場にもなるのですが、今のところまだそういった計画が私のところには情報が入っていませんので、ここ1年はこういった計画に対して、この審議会で検討していきたいと思っておりますし、皆様にご協力いただきたいと思います。

会 長： それでは、今、大変大事なところを質問されたのですが、審議会として策定するといっても、それだけの能力がある方もいらっしゃるけれど、なかなか難しいことなので、みなかみ町の都市計画がいかにあるべきかという意見を、審議会の中で戦わせていくということでもいいですね。

事務局： はい。そうしていただけることで、よろしくお願いします。

会 長： だから、いろんな意見を出して頂くということで、よろしいですね。

事務局： はい、お願いします。

会 長： それたたき台として今日、説明があったという解釈でよろしいわけですね。

事務局： はい。

会 長： 急に今日、説明を受けただけで具体的な質問はなかなか出しにくいでしょうが、ご意見がありましたら、どうぞご遠慮なく出していただきたいと思います。はい、どうぞ。

委 員： 今、意見が出たのですが、コンパクトシティという考え方というのは、おそらくこの統計の資料を見せてもらおうと、道路が欲しいという考え方には二次交通の利用主体、医療関係などもそうですが、遠いとか種類が少ないというのは、ほぼ道路の問題ではなく、二次交通の問題になってくると思うんです。特にみなかみに住みたくないという理由のおそらく基本的な考え方は、二次交通の、現役の子供を育てている世帯と老人世帯の必要なものと、欲しいところが違っている、つまりニーズが違っているというところから、そういう話になっていると思うんです。その辺のところを、この新しい、例えば施策に落とし込むときに、そういう問題が入っていないような気がするんです。それについてどういうふうに考えて、これからそういうものを計画していくことになるのですか。

- 会 長： その点、いかがですか。二次交通と、あと積雪もあるね。
- 事 務 局： 今回、ご説明したのはあくまでも大枠の、どういう方向でまちづくりを考えていこうかというところを、まず皆さんにご検討いただきたいというところの資料までです。今日お配りしました次第5ページのスケジュールですが、今日は第1回目ということで、大きなまちづくりの方向性についていろいろお話を頂く場としているのですけれど、今後具体的にそこから、今いったような二次交通をどうするのかとか、道路網とか、そもそも都市の骨格をどうするのか、といったところを、第2回、第3回で検討して行って、そのときにまたご議論いただければ、と思っております。今はまだ具体的などころは、ちょっとそこまで協議が進んでいないので、ないのですけれども。
- 会 長： 説明はわかりましたか。よろしいですか。
- 委 員： とりあえず。
- 会 長： 具体的なご提案は今後、第2回以降ということで考えているようです。今日のところは町の課題と目標についてのご説明をいただいたわけですが、そういうことに関して1つ何でもよろしいですからご意見いただけると。
- 私の方でこのスケジュールを最初に説明できなかつたのは座長として失格なのですが、私も今日初めて見たので、申しわけありません。
- 委 員： ただ、今、考えていないという話があったのですけれど、今の話は、すごく重要な話で、道路の関係だとか、例えば、この町を10年後にどうするかといったときに、一番基礎の基礎をどうするかという話を恐らく聞いたのだと思うのです。それについて、これを出すといったときに、例えば、その基本的な考え方ができていないことには。それはもうその時点で計画になってませんよ。その話はおかしいと思います。
- 会 長： 今のコンパクトシティも含めて。
- 委 員： コンパクトシティという考え方に持っていくとすると。
- 会 長： コンパクトシティというのは、例えば、冬期間だけでもコンパクトシティにしないと、積雪と、通学と通勤で困難だという声の人が多いですね。だから、そこらを今度は第2回でも第3回でも、今重要なご発言があったので何か1つ。
- 事 務 局： そうですね。おっしゃられたとおり、課題としては十分こちら事務局もそこは認識しております。コンパクトシティの考え方というのは、もちろん、当然我々も認識した上で、人口が減っていくのは分かっているので、そこは意識した計画にしていきたいと思っております。
- 委 員： コンパクトシティに持っていくという中では、例えば、お年寄りの人

は逆に本当は近くに来てもらいたいんだけど、認識の中では今住んでいるところに住みたいというのが出てくるじゃないですか。

事務局： そうですね。おっしゃるとおりです。

委員： そういうものを、要はこういうところでクリアしていくために話をしているの、例えば、コンパクトシティみたいな形で、基本的には持っていきたいのか、それとも、そうじゃないかということによっては、議論も違って来たりします。その辺のところをどう考えているんですかということだと思っんです。とりあえず。その辺について、言葉としてコンパクトシティと出ていますけど、簡単に言えば、居住区を狭めてきて、中心街に持ってくる方向で考えているのか、そうじゃなくて今の、例えば住んでいるところをもう少し充実させていく方向で考えるのかとか、その辺のところは基本的にあると思っんです。

事務局： それは恐らく、また事務局の中で詰めていく部分もありますが、基本的に国の方向も含めて、無理に市街地に寄せようという考え方、そのコンパクトシティに関する誤解が多かったというのがあって、その説明が国もだいぶ変わってきています。昔はそういったまちなかに集めるといふ発想に誤解されかねない説明が多かったものですので、今はそうではなくて、住みやすく、その人たちが暮らしたいところで暮らしやすく過ごせるためにどうしたらいいかということで、例えば変な話ですが、では、農村で農業をやっている人に市街地に来てもらったら、農地はどうなるんだ、という話がやはりあると思っんです。やはりそこは守っていてももらわないといけないところですし、皆さんの仕事の場ですから。そういった方の利便性も確保しつつ、でも、人口は減っていく、公共交通のニーズがなくなっていく、そのバランスをどう取っていくかというのが勘どころで、その落としどころは、皆さんの意見が少しずつ違うところなので、そういった部分を調整していきながら、どの辺がみなかみ町として落としどころなのかというのが議論できたらいいかかと、そういうふうにご考えております。

委員： はい、よくわかりました。ありがとうございました。

会長： よろしいですか。はい、どうぞ。

委員： ということは、今住んでいるこの町を住みよくしていく、そのためには、みなかみ町も全部、旧3町村もですけど、全てを暮らしやすく見直しをしていくという提案の仕方でいいということですね。

事務局： 基本はそうですね。基本的には皆さん住んでいらっしゃる方がやはり第一の計画になりますので、はい。

会長： 昔、10年以上前のコンパクトシティという、要するに強制的に、強制

的という言葉は使わないけど、無理矢理年寄りに寄せ集まって住んでもらうという、そういうコンパクトシティ化という意味じゃなくて、もうちょっと住む人が納得できる、二次交通や雪対策、農地対策を含めたみなかみ的な、名前はコンパクトシティというのではなくて、そういうものを提案してもらえればということですよね。

事務局： そうですね。ですので、今、一般的に説明ではコンパクトシティといわず、コンパクト・プラス・ネットワークという言葉で大体語られるのですが、要はネットワークというところに結構視点を移して話が進められているので、都市マスタープランでもそういったところを皆さんにご検討いただけるかなと考えております。

会長： ほかにご意見、ご質問はございますか。

事務局： あと、今のちょっと土地利用の件でいろいろと。

会長： どうぞ。

事務局： はい、すみません。こちらの都市計画のマスタープランは、昨年から株式会社パスコさんの方に委託をしまして、このような会議を設けるところまで動き出したのですが、最近になって、今年、みなかみ町の総合計画を新たに作成することになりました。都市計画マスタープランは総合計画に即するというので、それに合わせてつくらなければならないものですから、総合計画の策定と合わせて、どんな進行になっているのかを確認しつつ前へ進んでいこうと思っている点が、今考えているスケジュールと少し変わってきましたので、お知らせしたいと思います。

会長： いかがですか。ご意見、ご質問。

委員： はい。今、ご説明があったように、町の基本的な流れと整合性がとれた都市計画でない、それだけでやっても、何というか絵に描いた餅になってしまうから、その辺は、あまりこちら側は焦らないで、総合的な町の方針が定まった中でやっていかないと、おかしいことになってしまう。今の説明のとおり、やっていただければ。

事務局： はい。調整しつつ進めたいと思います。

会長： その進捗をみながら、会議の時期を決めたり、進行してほしいということですね。それはそうだね。2本立てになってはおかしいから。

他にご意見、ご質問いかがでしょう。なければ、今日のところはよろしいですか。

2回以降はぜひ皆さんこの問題に、みなかみ町の都市計画のそういった都市環境をどうするかということのひとつ大いに勉強していただいて、いい意見を持ち寄っていただきたいと思います。ありがとうございました。それでは、議事を終わらせていただきます。

## 6 その他

### <協議内容とスケジュール>

事務局より資料内容を説明

事務局：他に何か皆様の方からございますか。

専門委員：すみません、今のスケジュールの関係で確認させてもらってもいいですか。先程ありました、総合計画の見直しの進捗に合わせて、やっぱりスケジュールも変わると思うのですが、総合計画の見直しの時期はいつに定められているのか、今わかりますでしょうか。総合計画なので、そちらでのパブリックコメントはどのようなかなと思っているのですが。

事務局：総合計画につきまして、事務局の方でお聞きしたところ、パブリックコメントは12月、3月の議会で上程できるかどうかというようなスケジュールで事務局の方では考えているということはお聞きしているのですが、ちょっとまだ詳細については、わかりません。

専門委員：そうしますと、少なくともその後に、やはりこちらのほうは詳細とか基本的なところを決めていきながら、パブリックコメントもその後になるのかなという感じはしますが、またスケジュール調整の程よろしくお願いします。

事務局：はい、わかりました。すみません。

事務局：場合によっては、繰り越しになるということも視野に入れて進めて、慌てないで、総合計画に合わせたものをつきついでいきたいと思っております。

それでは、以上で第5回のみなかみ町の都市計画審議会を終了させていただきます。皆さんどうもありがとうございました。

## 6 閉会

以上